



(YouTube キャラウィット公式チャンネルより)

久しく積んでおいた著書

(共著を含む18件余り)や学

術論文(共著を含む41件余

り)などがある。

暫くはこの暗いトンネルの中、じつとしている。明日になれば、きっと明るい春に会うことができるでしょうから。

長い間、著書や論文を積んでおいて

いたが、芭蕉に憧れて寛保一年、

あるそうだ。仙台の榴岡天

山陽道、西海道、南海道の七

本の街道で結ばれた国で構成

されていた。このうち、東山

道以外は鉄道あるいは高速道

路網にその名前が残っている。

東山道の地図を眺めると、

伊那谷では宮田、深沢、など

の名前がある。宮田は「宮田

村」であり、深沢は箕輪町の

「深沢川」あたり、下古田付

近、そして松本付近の「覺志」

に続く。このあたりに信濃國

府があつたといわれる。宮城

県では「名取」などの名前が

出ており、陸奥国府(今の多賀

城跡)の付近を通っている。そ

の昔、征夷の人たちは都から

遠征したのだろう。東大寺

創建の時には、奥州涌谷の黃

金もこの東山道を経て運ばれ

たのではなかろうかと想像す

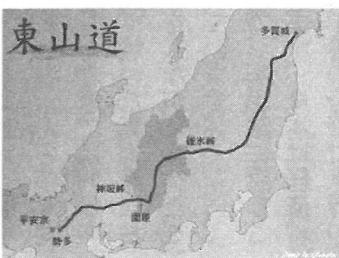
る。伊那は通路の一つに過ぎ

なかつたかもしれないが、こ

んなところも伊那谷と仙台・

陸奥の関係が偲ばれる。江戸

伊那を離れて六十六年も経つ。年を取るにつれ故郷への思いが強くなる一方で訪れる機会も少なくなった。そのため伊那谷との関わりについて考えてみたいと思うように、本欄にも「高遠の桜を通り、本欄にも「高遠の桜を通り、伊那谷との関わりについて伊那谷とみちのくを結んだ東山道」が伊那遠の石工魂」について紹介しました。さて、今回はと思っていましたが、ふと「東山道」が伊那谷とみちのくを繋げていることに気付いた。律令の時代、東山道は畿内から陸奥国に至る駅路として政治、軍事面で



重要な最短路であった。この

頃、五畿七道といわれる広域

行政制度があり、七道は東海

道、東山道、北陸道、山陰道、

山陽道、西海道、南海道の七

本の街道で結ばれた国で構成

されていた。このうち、東山

道以外は鉄道あるいは高速道

路網にその名前が残っている。

東山道の地図を眺めると、

伊那谷では宮田、深沢、など

の名前がある。宮田は「宮田

村」であり、深沢は箕輪町の

「深沢川」あたり、下古田付

近、そして松本付近の「覺志」

に続く。このあたりに信濃國

府があつたといわれる。宮城

県では「名取」などの名前が

出ており、陸奥国府(今の多賀

城跡)の付近を通っている。そ

の昔、征夷の人たちは都から

遠征したのだろう。東大寺

創建の時には、奥州涌谷の黃

金もこの東山道を経て運ばれ

たのではなかろうかと想像す

る。伊那は通路の一つに過ぎ

なかつたかもしれないが、こ

んなところも伊那谷と仙台・

陸奥の関係が偲ばれる。江戸

の駅路として政治、軍事面で

考へたみたいと思うよう

に、本欄にも「高遠の桜を

通り、伊那谷との関わりについて伊那谷とみちのくを結んだ東山道」が伊那遠の石工魂」について紹介しました。さて、今回はと思っていましたが、ふと「東山道」が伊那谷とみちのくを繋げていることに気付いた。律令の時代、東山道は畿内から陸奥国に至る駅路として政治、軍事面で

考へたみたいと思うよう

に、本欄にも「高遠の桜を

通り、伊那谷との関わりについて伊那谷とみちのくを結んだ東山道」が伊那遠の石工魂」について紹介しました。さて、今回はと思っていましたが